

## 学生生活実態調査アンケート（第8回）実施結果をふまえた 学部・研究科の対応

### 国際商経学部

〔要望や課題〕 選択科目が少ないなど、カリキュラムに不満を抱えている学生が多い。

〔回答〕 旧カリキュラムについては、引き続き学生が履修しやすい時間割編成を目指します。新カリキュラムにおいて経営学コース内に会計プログラムを立ち上げたことにより、同一プログラムの授業が同じ時間帯に開講される状況が改善され、履修したい授業が履修できない状況は改善されると考えています。また、従来は全学共通教育科目であった語学を中心とする科目が学部専門教育科目となったことで当該分野の科目数が増加したこと、必修科目数が以前よりも減少したこと、さらに経済学・経営学コースとグローバルビジネスコースとの間で相互に履修可能な科目が明確化されたことは、学生の履修の自由度および柔軟性の向上に寄与すると考えています。

〔要望や課題〕 学内にハラスメント相談窓口があることを知らない学生が6割以上いる。

〔回答〕 新入生オリエンテーションの際に各種相談窓口について説明をしていますが、2年次以降もゼミなどを通じて周知を図ります。

### 社会情報科学部

〔要望や課題〕 授業の内容が高度過ぎるため、現在のカリキュラムに満足できない学生がいる。

〔回答〕 専任教員数名が「数学勉強会」を基本的に毎週開催し、数学、プログラミングについて質問を受け付ける場を設けています。また、本学部の特色である「情報科学」と「社会」の二軸を明確化した科目体系を構築しました。具体的には、情報科学分野を「数理・アルゴリズム」「AI・データサイエンス」、応用・社会科学分野を「社会応用」「社会関連」の各科目群へと再編しました。あわせて、社会情勢や学生のニーズに応じた科目を新設しました。これらにより、学生が個別の科目履修を通じて修得できる能力を具体的にイメージすることが可能となり、広報活動における学部のメッセージ性も高まることが期待されます。

〔要望や課題〕 半数以上の学生が、学内にハラスメント相談の窓口があることを知らない。

〔回答〕 学内の掲示で周知を図るとともに、履修ガイダンスなど、多くの学生にアナウンスが可能な場面で、人権関係の相談員の存在や連絡先を周知します。

〔要望や課題〕 大学からのお知らせ（ユニバーサルサポート）を確認する頻度が数日に一回程度以下の学生の割合が多い。

〔回 答〕履修ガイダンスなど、多くの学生にアナウンスが可能な場面で、確認頻度を上げるように周知します。

## 工学部

〔要望や課題〕就活のため、一人用のweb会議スペース、ブースをいくつか作って欲しい。

〔回 答〕現在、5号館ゼミ室7（利用についてはキャリアセンターへ）やC棟会議室（同 C棟事務室へ）、学術情報館（図書館）学習室（同 図書館カウンターへ）を開放しています。Web面接用の個室ブースの設置については、今後検討していきます。

〔要望や課題〕5号館のトイレ、特に個室が暗すぎるため、冬季の午後や雨天時などは危険なのではないかと思う。そのため、個室の真上にも灯りを設置するべきではないか。

〔回 答〕5号館トイレにLED照明を取り付けました。

## 理学部

〔要望や課題〕現在のカリキュラムについて、8割弱の学生がある程度満足しているものの、「授業の内容が高度すぎる」と回答した学生の割合が15.1%と他学部（全学部は11.9%）より高い。

〔回 答〕全教員に、授業アンケートの結果について、学生理解度に注視し、改善点の記載がある場合はコメントを回答するよう周知し、現レベルの内容により多くの学生が満足できるよう、授業改善に取り組みます。

〔要望や課題〕約半数の学生が卒業後の進路への不安を抱えている。

〔回 答〕教育課程内の取組として、今年度より新たに、2年生を対象に内定者やOB・OGによる講演会や情報交換会を実施し、また、教育課程外においても、OB・OG等による講演会、さらに内定学生による報告会などを充実し、学生が将来像を明確にできるよう支援します。

〔要望や課題〕約4割強の学生が、相談に行ったことがない。

〔回 答〕全学生に、ユニバーサルパスポートの掲示等で各種相談窓口を周知し、一人で悩まずに気軽に相談するよう呼びかけます。

## 環境人間学部・環境人間学研究科

〔要望や課題〕7割近くの学生が、学内にハラスメントの相談窓口があることを知らない。

〔回 答〕学内掲示だけではなく、ユニバーサルパスポートやオリエンテーションでも相談窓口について周知します。

〔要望や課題〕多くの学生が情報の主な入手先としてユニバーサルパスポートをあげているが、毎日確認している学生は3割程度と少ない。

〔回 答〕ユニバーサルパスポートを毎日確認するようにオリエンテーション等で周知します。

〔要望や課題〕設備、サービス等について「学生が集える場所」を充実してほしいとの要望が多い。

〔回 答〕令和7年度大学拡充費でコミュニティールームの設備を行う予定です。また、学内の自習スペースや学生が集える場所についてユニバーサルパスポートや学内掲示を行い、学生に周知します。

## 看護学部

〔要望や課題〕学生生活に関する悩みの項目で35.9%の学生が「卒業後の進路への不安」を抱えている。

〔回 答〕学年ごとの目標とキャリア支援内容を定め、それに応じたキャリア教育や就職対策を行っています。令和7年度から1～2年次からキャリアビジョンを考えることができるよう取り組んでいます。今後も不安を軽減できるよう内容を精査していきます。

〔要望や課題〕成績公開が遅い。

〔回 答〕成績公開の時期は、過去から検討を重ね年々早めてきましたが、最短での成績公開時期を再度検討し、看護学部の専門科目（一部科目を除く。）に限り来年度から8月末の公開を目途に進めることとします。

〔要望や課題〕クラブ活動やサークルが少ない。

〔回 答〕明石看護キャンパスは、看護学部の学生のみのためサークルは少ないですが、サークル（同好会）を立ち上げ、1年間の活動後クラブを設立することができます。クラブ活動に関しては後援会からの支援もあることも学生に周知していきます。

## 社会科学部

〔要望や課題〕重要情報を見逃す可能性があるため、情報発信内容を大学生と大学院生に分別し、発信回数を減らしてほしい。

〔回 答〕情報発信内容を大学生と大学院生にできるだけ分別することに加えて、項目（見出し）を表示するように努めます。

〔要望や課題〕For example each department has a computer scanners and printers and also each department should be provided with a dedicated research room.

〔回 答〕学生研究室には共用のスキャナー、プリンタ、各1台をすでに設置しており、周知します。

## 工学部

〔要望や課題〕学校に着替える場所がほしい。Web面接でスーツを着て、実験用の私服

に着替える場所がトイレ以外にもあればうれしい。

〔回 答〕 今後の建物改修の際に参考とさせていただきます。

## 理学研究科

〔要望や課題〕 約4割の学生が卒業後の進路への不安を抱えている。

〔回 答〕 OB・OG等による講演会、さらに内定学生による報告会、進路指導セミナーなどを充実し、学生が将来像を明確にできるよう支援します。

〔要望や課題〕 約4割弱の学生が、相談に行ったことがない。

〔回 答〕 全学生に、ユニバーサルパスポートの掲示等で各種相談窓口を周知し、一人で悩まずに気軽に相談するよう呼びかけます。

## 看護学研究科

〔要望や課題〕 施設・サービスに関する質問項目で、「食堂・購買部」の充実を希望する学生は33.3%に上っている。

〔回 答〕 食堂運営事業者と改善に向けた協議を行い、炊飯器の新調、味噌汁サーバーの設置、スイーツフェアの実施など可能な限り学生の要望に合わせたメニューの改善を図っています。また、多くの学生に情報が届くよう専用の掲示板も作成しました。

〔要望や課題〕 自動車通学を許可してほしい。

〔回 答〕 原則自動車通学は認めていませんが、働きながらの通学や保育や介護などの家庭の事情等、やむを得ない事情がある場合は柔軟に対応します。

〔要望や課題〕 学術情報館の書籍や論文検索で使用するデータベースを充実してほしい。

〔回 答〕 関係団体からの支援を受けながら、契約内容を見直すなど約800本の全文ジャーナル数が増加しました。今後も予算に応じて閲覧できる論文数の増加に努めます。

## 情報科学研究科

〔要望や課題〕 重要な情報はメールにも送ってほしい

〔回 答〕 ユニバーサルパスポートの個人設定において、メール受信の設定をすれば、自動的にメールでの配信を受けることができるので、ご利用いただきたいです。

〔要望や課題〕 学術雑誌を無料で読めるようにしてほしい。

〔回 答〕 学術情報館にある学術情報誌は無料で読むことができ、他情報館のものでも電子ジャーナルであれば一部を除き無料で見ることもできますので、利用いただきたいです。

### 緑環境景観マネジメント研究科

〔要望や課題〕 約6割の学生が修了後の進路などに不安を抱えている。また、キャリアセンターの設置を求める意見がある。

〔回答〕 1年次に学生個別面談を年2回行い、進路を含めた学生生活全般について相談できるようにしています。また、学生に向け、キャリアセンター（既設）の活動内容を発信し、認知度の向上を図ります。

〔要望や課題〕 食堂の営業時間が短いので改善してほしい、食堂が高いので購買を作ってほしい。

〔回答〕 今年11月から、夕食弁当の販売を開始しました。当キャンパスは小規模少人数のため、購買設置や営業時間延長は採算性の点から実現しにくいです。

### 地域資源マネジメント研究科

〔要望や課題〕 約3割の院生が卒業後の進路への不安を抱えている。

〔回答〕 少人数なのを活かし、キャリアセンターでの個別対応の実施や個人のニーズを踏まえた細やかな情報提供に努めています。一人で悩まずに気軽に相談してください。

〔要望や課題〕 約3割の学生が食堂・購買部の現状への改善を求めている。

〔回答〕 少人数のキャンパスのため、学内への食堂設置等は極めて困難です。学内の簡易調理スペースの活用や県立コウノトリの郷公園施設内にあるカフェ等を利用するなど各自での工夫をお願いします。

### 減災復興政策研究科

〔要望や課題〕 社会人学生には日中の授業参加が非常に難しいので、オンラインでの参加ができる環境を整えてほしい。オンライン参加が無理であれば、録画で振り返りをできるようにしてほしい。社会人学生であり職務との両立に苦しんでいる部分が多い。オンラインの充実など、支援体制を作っていたらと非常にありがたい。

〔回答〕 社会人学生の皆さまが学びやすい環境を整えることは本研究科としても重要と考えております。授業のオンライン対応や録画による振り返りの仕組みについて、今後さらに充実できるよう検討を進めてまいります。

〔要望や課題〕 「現場を大切にする」とオープンキャンパスで聞いていたが、「フィールドワーク」の日数は前年度より減っていた。災害発生に伴う研究科としての被災地訪問や調査も、令和6年能登半島地震の例では発災後約9か月後に1度のみで、大学での拠点設置もなし、現地を訪問した際の報告書もなかった。

〔回答〕 当研究科として「現場を大切にする」という方針に変わりはありません。フィールドワーク授業のカリキュラム内容については、年度毎に見直しを

しています。被災地の訪問や調査は、被災状況によってはデリケートな内容であり、ケースバイケースで発災直後には現地入りできないこともあります。

〔要望や課題〕 フィールドワークなどを近隣だけに限らずこれまでどおり遠方での実施を許可していただきたい。

〔回答〕 ご自身の研究内容のフィールドに制限はありません。指導教員に相談してみてください。一方、授業科目である「フィールドワーク」は、方法論を学ぶことを中心にしているため、近隣（原則、日帰り）を対象としています。